



3年学年だより

発行日：平成 30 年 10 月 31 日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 6

◆◇安心・安全な登下校を目指して◇◆

南高校附属中学校の生徒は、横浜市全域を学区としてさまざまな方面から通学しています。南高校へのアクセスは、最寄りの駅からバスを利用したり、交通量の多い道を歩いたり、閑静な住宅街を歩いたりしています。

附属中学生と南高約 1000 人が毎日安全に登下校できることが一番に求められると同時に、地域の方々の安全も求められます。附属中学校と南高校が地域の方々に信頼していただける学校に成長していくためには、附属中生一人ひとりの責任ある行動が欠かせません。交通ルールを守り、マナーよく登下校することは当然のことであり、さらに地域の方々への心遣いのある行動がとれることを期待しています。

中高職員がともに定期的に下校指導を行っています。ご家庭でもぜひ話題にしていきたいと思えます。

○駅までの道を歩く場合、歩道を広がらずに、大きなかばんは自分の体の前にして自分の横幅を広げない。すれ違う人に、自分から道を譲りましょう。

○バスを利用する場合、リュックを前に抱えて乗り、多くの人が乗れるようにステップの奥までつめる。バス停で附属中学生が多いときは、地域の方に順番を譲りましょう。

○上大岡方面の大久保町バス停付近で、以前たいへんいたましい事故が起きました。この事故を受けて、地域の方々も中高生の通行を見守ってくださっています。しかし、この付近は車の交通量と、通行する生徒の数と、狭い道幅とが見合っていない現実もあります。右の地図に示す『推奨ルート』をなるべく歩きましょう。



また、この『推奨ルート』は地域の方々も通勤・通学のために附属中学生の登下校とは逆の流れで、大勢通行していらっしゃいます。『推奨ルート』とはいえ、附属中学校専用道路ではありません。すれ違う方々も附属中生も安全に通行できるよう、気を配りましょう。

○上永谷方面では、住宅街の中の広い道を歩きましょう。勸永公園を横断する道は、通行する人が少なく、毎年不審者情報が学校に寄せられています。この勸永公園を横断する道は使わないでください。また、地域の方々も附属中生に向けても挨拶をしてくださっています。自分からも挨拶をしましょう。

○附属中学校では 10 月から下校時間が 30 分早くなりました (5:30 完全下校です)。日が暮れて早くなりましたので、生徒の皆さんはできるだけ明るく人通りの多い道を通りましょう。登下校中や塾帰りに犯罪被害にあう事案が発生しています。お子さんを犯罪被害から守るために、ご家庭でもよく話し合ってください。本校では、貸出し用防犯ブザーを用意しています。防犯ブザーを学校に持ってくるのを忘れて、下校時刻が予定より遅くなったりした場合など、必要なときには中学職員まで伝えてください。



CANADA



10月2日(火)～10月8日(月)、私たち5期生はカナダ研修旅行に行ってきました。附属中学校に入学してから、「3年生になったらカナダに行く」というとても大きな目標に向けてさまざまな準備をしてきました。1年生のPAAに始まり、コミュニケーション研修、構成的エンカウンター講座、2年生のイングリッシュキャンプなどのEGG学習や、英語を始めとした全教科・全領域の学習がつながって、積み重なって導かれたカナダ研修旅行。1組は「観光・食事」2組は「文化・歴史」3組は「気候・地理」4組は「言語・習慣」について調べてはきたものの、いざバンクーバー空港へ到着してみると・・・日本との文化の違い、そして空気感の違い、初めて体験すること驚くことの連続だったようです。カナダに行って、見て、体験した驚きや喜びや学びは、みなさん一人ひとりがチャレンジして得たものです。一人ひとりが体験して得たことはきっとこれからの人生の大きな糧になることでしょう。



カナダ研修旅行の各プログラム 生徒の感想

ポイントグレイ交流プログラム

まず、バスがかっこいいと思った。黄色いスクールバスは生まれてはじめて乗った。すごく良い体験になった。そして、校舎。これはもう、最高にクールだった。まるで城！

自分のボディとはとてもくだらないことをしゃべりあっていただけ、普通に会話している自分にびっくりした。



ポイントグレイ校の図書館

サーモン孵化場・キャピラノ溪谷・リン溪谷

リン溪谷とキャピラノ溪谷はとてもよかったです。自然の中を歩きながら友達と話せたため、今まで以上に仲が深まった気がする。つり橋がかなりゆれて怖かったが楽しかった。



キャピラノ溪谷のつり橋

B&S班別研修プログラム

たのしかったー！どんなことやるんだろう？と思っていたが、班のみんなで観光、“チャレンジ”して、より仲も深まったしよかった。カナダの建物や地形、場所についてよく学べたいい機会だった！よかった。インストラクターさんも、とてもいい人で、たくさんお話しして英語力も少しついた！



ギヤスタウンのお土産屋さん

ホームステイ

カナダ前は、「どんなホストファミリーだろう」「英語たくさん話せるかな」など緊張していた。しかし、実際に会ってみると、とても優しく出迎えてもらえ、緊張がほぐれた。また、家ではドイツとブラジルからの同い年くらいの留学生もいた。初めはお互い緊張していたが、一緒にバドミントンをしたことで仲良くなることができた。沢山の良い思い出が作れた。



ホストファミリーとお別れ的一幕

他にも・・・



B&Sプログラムで乗ったシーバス



ギヤスタウンのガス灯の前で一枚



カナダのスクールバス

カナダ研修旅行を通して学んだこと、これからの生活に活かしていきたい事

1組

◆友達関係は難しいと思った。もっとコミュカを上げて自分から会話に参加していくべきだと感じた。英語は、単語不足というよりは、リスニング力不足という感じで、とにかくネイティブは当たり前だけどスピードが速かった。話しについていけないのが無念だった。もっとききとり話に参加したい。UBCもポイントグレイもホント自由でいいなと思った。先生方、両親、友達に感謝しています。



◆カナダへ行ったことで、日本とは大きく異なる文化やルール、街並みやライフスタイルなど、たくさんの経験を得たり、知ったりすることができた。また初対面の人と話す機会が多く、伝わるか心配だったが、自分からも相手に質問したり、答えたりすることができた。「カナダはカナダ、日本は日本」と初めはそう思っていたが、ルールやマナーは日本でも守っていくべきものはしっかりあることに気付かされた。また、異文化に触れたことで自分の視野(将来や周りのこと)が少し広がったと思う。さらに、ポイントグレイやホストファミリーとの会話を通して自分から少しでも積極的に話そうという気持ちが前よりも強くなった。日本に戻ってから一週間が経つが、カナダで気付いたことや変わったことは忘れない。そして、またいつかお金を稼ぐようになり、英語やコミュカが上がったときにまたバンクーバーを訪れたいと思う。

2組

◆何事もとりあえずやってみること。英語でのコミュニケーションはチャレンジが大事だと思った。とにかくトライしてみることの大切さを学んだ。言葉が間違っているにもかかわらずカナダのみんなが一生懸命理解しようとしてくれたことが、私はとても嬉しかった。同時に、もっと話したい、もっともっとスムーズに話せるようになりたいという気持ちもたくさんあった。高2でシンガポールに行くときは、もう少し英語を使ってスムーズに話したい。また日常生活でも今回学んだトライするという事と思い出を忘れずに頑張りたい。



◆横浜から飛行機、現地滞在中まで一週間程度つきっきりで引率して下さった先生方、三年間お金の積み立てから旅行に向けての準備を手伝って下さった両親、現地で四日間家に泊めてくれてもてなしてくれたホストファミリー、ここまで準備してくれた実行委員、ツアーの方々など、支えて下さった方はたくさんいると改めて思った。いつも感謝の気持ちを忘れずに生活していきたい。

◆関わってくれたすべての人たちと、出会いに心から感謝！本当にありがとうございました！！

3組

◆“Hi! How are you?” ホームステイ先の人々が私達を迎えに来てくれる度、毎日言ってくれた言葉だ。これは私達だけではなく、自分の家族に対しても毎日言っていた。私は家族に「今日の調子はどう？」なんて言われたいし言わない。こういった日頃の文化の違いに私は感動した。また、伝えたいことがうまく伝わらなかったことがこの旅行中たくさんあった。学校で過ごしていてもコミュニケーションって難しいなと感じることは多いのに、外国人となるとさらに難しさが増した。だけど、その難しさが楽しかった。うまく伝わらないことをどうにかして自分の持っている英語の力だけで伝えることは私をわくわくするような気持ちにさせた。外国人とコミュニケーションをとることって楽しいな。もっと英語をしゃべれるようになりたい。これがこの研修旅行で学んだことだ。外国人とフレンドリーに過ごした日々を日本でもできるようにしたい。



4組

◆この研修旅行を通し、現地の同じくらいの年の外国人は、私が思っていた以上にしつこく質問したり、相づちを打ったりしながら会話をすると学んだ。これは英語の授業でも何度も言われてきたことだが、実際に体験してみると「えっ!？」と驚いてしまう程だった。これからは、英語の授業で会話をしている際、今まで以上に相づちをしたり、疑問に思ったりもっと知りたいと思ったら質問するなど積極的にになりたいと思う。また、日本で外国人と話す機会があれば、今回カナダで学んだことを活かし、積極的に話しかけようと思う。



◆研修旅行を通して自分の気持ちを伝えるためには反応することが大切だと学んだ。英語がよく分からなくても大きくうなずいたり、「Good」と言ったりすれば相手に少しは伝わると感じた。また、カナダの人たちは他の人を褒めることが多く、周りの人がうれしくなるような良い文化だなと思った。私も帰国後褒める言葉が多くなった気がする。今回の研修旅行を活かして、周りの人とたくさんコミュニケーションがとれるようになると良いと思う。また、英語ももっと勉強したくなった。